

■タイ：ADB、エネルギー輸入依存度の低下には原発が最適

大手経済紙は2014年11月4日、アジア開発銀行（ADB）が発表した「Asian Development Outlook 2013 : Asia Energy Challenge」の中で、「タイのエネルギー輸入依存度の低下を図るには原発の導入が最適な選択である」と指摘していると報じた。それによると、アジア諸国の中で2035年時点で現在のエネルギー自給率を維持できる国はカザフスタンとアゼルバイジャン、ブルネイの3カ国しかなく、タイについては自給率が現在の60%から2035年には20%に低下すると予測されている。環境団体の反対により石炭火力発電所の建設が困難なタイでは、原発が最適な選択肢であるとしている。